

■大会ホームページリニューアル

大会ホームページがリニューアルされました。より視覚的にわかりやすく情報を伝えることができるホームページとなっています。ぜひ一度ご覧ください。

ホームページからはすでに発行されている大会情報誌ブリテン1号、2号の他、大会ポスターをダウンロードいただけます。

URL: <http://www.scout.or.jp/16NJ/>



■ブリテン掲載内容

これまでに発行されたブリテンの内容と今後発行が予定されているブリテンの内容予定を記載します。

● 16NJ ブリテン第1号 (2012年2月発行)

開催概要／開催の趣旨／参加申し込み日程／大会ロゴ・テーマ／大会コンセプト／プログラムの概要／参加カテゴリー／会場／オペレーションきらら／ホームステイ／派遣団の組織／参加隊の編成／来賓・ゲスト／派遣団長会議の開催／協力をお願いなど

● 16NJ ブリテン第2号 (2012年8月発行)

ジャンボリープログラム／JLJプログラムガイド／大会日程／ジャンボリー会場／派遣団長会議開催の報告／16NJ・30APRSJに関するQ&A(抜粋)／参加予定申し込み／第1次輸送調査の実施／会場へのア

クセス／参加費の内訳／交代参加／班炊事および炊事用燃料／セーフ・フロム・ハーム

● 16NJ ブリテン第4号 (2013年2月発行予定)

参加者登録システム(WEB)について／IST情報(生活、トレーニング、割り当てなど)／班支給品・隊支給品／参加者の食事／成人スタッフの食事／派遣団本部の詳細／会場への輸送／到着・出発の流れ／プログラム情報／デイビジターの申込／大会マスコット／派遣団レセプションなど

● 16NJ ブリテン第5号 (2013年5月発行予定)

到着・出発の流れ(更新)／会場での受け付け／派遣団の健康管理／プログラム情報(追加・更新)／デイビジター情報(更新)／プラザ／会場内の設備など



■今後の日程

2013年1月 参加確定申込要項等の配布

2013年3月 参加確定申込(日本連盟締切)

■問い合わせ先

大会についてのお問い合わせは、ボーイスカウト日本連盟事務局第23回世界スカウトジャンボリーオフィスまでお願いします。なお、大会への参加に関するお問い合わせは、各県連盟の事務局までお願いします。

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 第23回世界スカウトジャンボリーオフィス

〒113-8517 東京都文京区本郷1-34-3

電話: 03-5805-2569 FAX: 03-5805-2908

E-mail: 23wsj@scout.or.jp

ホームページ: <http://www.scout.or.jp/>



Bulletin #3

16NJ 大会情報誌ブリテン第3号

平成24年11月発行

第16回日本ジャンボリー (16NJ)

第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー (30APRSJ)

日程 2013年7月31日(水)～8月8日(木) / 会場 山口市阿知須・きらら浜

+

■ ご挨拶



世界スカウト委員
中野 まり

予定申し込みも終わり、皆さまにおかれましては来年に向けて準備が加速されているのではないかと思います。今回はアジア太平洋地域 (APR) スカウトジャンボリーの事を少しお話ししたいと思います。

第16回日本ジャンボリー (16NJ) は第30回 APR スカウトジャンボリー (30APRSJ) であると同時に第23回世界スカウトジャンボリー (23WSJ) のプレ大会であるというのは皆さんもご存知の通りです。世界161の国と地域がスカウト運動に加盟していますが、それらは6つの地域に分かれており、APR では26の国と地域がメンバーとなっています。

第1回 APR ジャンボリーは1973年にフィリピンで開催されました。参加者は約15,000人、海外からの参加者は約3,000人で、日本からは約400人が参加しました。その時の大会テーマは「友情を通じての奉仕」でした。具体的な目標の一つが、大会開催を通じて、フィリピン連盟が今後も使用できるキャンプサイトを整備するということでした。ジャングルであった土地はみごとに開拓され、そのキャンプサイトはフィリピン連盟のマッキリン山キャンプ場として活用され、2009年末には第26回 APR スカウトジャンボリーが開催されました。

第29回 APR スカウトジャンボリーはスリランカの世界遺産、シギリアロックに近いところで開催されました。スリランカで国際的なジャンボリーを開催するのは初めてとあって、開会式には大統領も出席され、官民あげてのサポートで大会は成功裏に終わりました。

APR スカウトジャンボリーは時代の状況に応じて、

単独事業であったり、冠事業であったりということでも回を重ねてきました。そして30APRSJは16NJの冠事業として開催されます。APRの国々を中心に約1,500人の海外からの参加者を予定しています。APRは特に他の地域よりも、気候、文化、宗教等あらゆる面で多様な地域です。また、APRの国々のほとんどでは学校ベースでスカウト運動が展開されています。日本のように地域を軸に展開している国は、APRではオーストラリアとニュージーランドだけです。今大会のテーマは「和：a Spirit of Unity」。23WSJプレ大会ということで、同じテーマを掲げているわけですが、多様な背景を持つAPRであればこそ、たとえ地域ジャンボリーであっても、とても意味のあるテーマだと言えます。

参加するスカウトの皆さんには、あらゆることにチャレンジして多くを学んでいただきたいと思います。ジャンボリーは単なるイベントではなく、教育プログラムとしてスカウトの精神的、身体的、情緒的、社会的、知的成長を目標としています。従来のNJと同じ部分や新しい試みの部分、すべての機会を有効に利用し、参加者がそれぞれの立場で成長し、次の23WSJにつなげていただければと思っています。

■ 目次

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 2：参加確定申込・登録手続きについて | 6：県連盟広報担当者について |
| 3：16NJ参加に向けた準備 | 6：デイビジターについて |
| 4：ジャンボリー会場での生活① | 7：大会本部の業務とISTカタログ |
| 5：ジャンボリー会場での生活② | 8：大会ホームページ |
| 6：JJIプログラムガイド | 8：今後の日程 |
| | 8：ブリテン掲載内容 |

+



■ 参加確定申込・登録手続きについて

参加予定申込へのご協力ありがとうございました。
年明けより次の段階である確定申込が始まります。

● 参加予定申込の状況

2012年11月14日現在、以下のとおり予定申込をいただいています。引き続き、ご協力をよろしくお願ひします

参加国：日本、オーストラリア、香港、インドネシア、
フィリピン

参加隊：10,918人

大会運営スタッフ：1,500人

確定申込について

● 概要

各県連盟派遣団へ送付される書式(Excel形式)にて以下の情報のとりまとめを行い、インターネットを介して「参加者登録システム」に県連盟派遣団の情報のアップロードを行います。

参加隊：スカウトおよび指導者の名簿(加盟登録番号、個人に関わる情報)

大会運営スタッフ：人数、名簿(加盟登録番号、氏名、個人に関わる情報)、奉仕希望部署(第3希望まで、国際サービスチーム員 [IST] のみ)

参加費：確定申込時に支払う大会参加費の残額(1人あたり4万円)とオペレーションきらら(1人あたり1000円)の総額を日本連盟へ送金します。

● 参加者登録システムについて

16NJでは、派遣団に関する情報のとりまとめおよび管理を効率的に行うため、インターネットを介した参加者登録システムを使用します。各県連盟派遣団へは個別のアカウントが付与され、このシステムにログインして派遣団の情報の登録や修正作業を行うことができます。

確定申込の流れ

① 団・地区での取りまとめ(2013年1月～)

後日送付される書式(Excel形式)で、各団・地区の参加隊および国際サービスチーム員の情報の取りまとめを行います。集められた情報は、県連盟へ各県連盟が定めた期限までに送付します。

② 県連盟での取りまとめ

各団・地区から送付された情報の取りまとめを行い、参加隊および大会運営スタッフを含めた派遣団の名簿を作成します。作成した名簿は、参加者登録システムへアップロードを行います。(2013年3月末日まで)

③ 日本連盟での取りまとめ(2013年4月～)

各県連盟派遣団からの確定申込情報は日本連盟で取りまとめを行います。

※詳しくは、「16NJ 確定申込実施要領」(2013年1月上旬公開予定)を参照してください。

● 注意点：情報のとりまとめ

- ①書式の取りまとめは各団・地区で行った後、県連盟で集約作業を行います。個人単位での参加手続きは行いません。
- ②国際サービスチーム員についても県連盟派遣団単位での取りまとめ作業を行ってください。

● 注意点：確定申込手続き

- ①参加確定申込後の追加参加は認められません。
- ②県連盟派遣団は、隊あたりの申込人数が40人に満たなくても、40人分の参加費を負担します(1隊あたり200万円)。
※混成隊を組んだ場合は混成隊につき200万円
- ③参加確定申込時に納入する参加費の残額は、他の参加者の参加費に振り替えることはできませんが、払い戻しは行いません。

■ 16NJ 参加にむけた準備が始まります

16NJまで8ヶ月となり、参加に向けた準備が始まる時期になりました。本号では、16NJ 参加にあたっての準備のポイントを紹介し、参加スカウトが心に残る体験ができるよう、各派遣団では万全の準備を進めてください。

● ポイント1 / 班の編成

16NJは第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)のプレ大会として、これまでの日本ジャンボリーとは異なった班編成になります。9人のスカウトと1人の指導者で一つの班を構成し、4班で一つの隊を構成します。異年齢間のコミュニケーションを促進するため、ボーイ班、ベンチャー班と分けるのではなく、各班がボーイ・ベンチャー年代のスカウトによりバランスよく構成される必要があります。

● ポイント2 / 班炊事および炊事用燃料



16NJでは班炊事を基本とし、炊事用燃料にはカセットガスを使用します。日頃のキャンプでカセットこんろを使用していないスカウトも多いと思います。そのため、参加に向けた準備では、班炊事の実践とカセットこんろの取り扱いと火災予防を取り入れ、身につけてください。大会では、班ごとに2台のこんろを使用し、カセットガスは1日あたり1班3本が配給されます。1～2日分をまとめて配給し、以降使用済みのカセットガスと交換で新たなカセットガスが配給されます。なお、カセットこんろの調達にあたっては、カセットガスと同一のメーカーの適合機種をご用意ください。(詳細はブリテン2号を参照してください)

● ポイント3 / ジャンボリー会場での生活

ジャンボリーは教育プログラムとして開催され、そ

の中心にジャンボリー期間中のサブキャンプでの生活があります。1週間を越える共同生活を円滑に進めるためには、生活の規律を守ることが大切です。各派遣団あるいは各隊の準備訓練では、初めてのメンバー同士で顔合わせを行い、ジャンボリーへ向けた共同体験が始まります。16NJ会場での熱中症対策、長期間のキャンプにおける健康管理なども含め、隊・班での生活ルールを身につけましょう。

● ポイント4 / 隊内のコミュニケーション

ジャンボリーでの体験をより良いものとするために、隊内でのコミュニケーションが十分に行える環境が必要です。これは指導者とスカウト間だけでなく、スカウト同士、指導者同士のコミュニケーションも含まれます。スカウト同士のいさかいやいじめなどにも対処できるように、事前に隊内はもちろん、スカウトの保護者そしてスカウトの自隊の指導者も含めたコミュニケーションの充実と支援体制づくりが求められます。

● ポイント5 / ベンチャースカウトの位置づけ

16NJでは開催時点で16歳以上のベンチャースカウトは、参加隊の他に、国際サービスチーム員(IST)として大会に参加することもできます。これは、2015年に開催される23WSJに向けてISTを養成することを目的としているもので、彼らには23WSJで活躍することが期待されています。16NJでの「奉仕隊」ではなく、23WSJに向けた「IST体験」として、彼らに有益な経験となるよう、各部署でベンチャースカウト年代のISTを受け入れるよう準備が進められています。

● ポイント6 / JIJプログラムガイドの活用

ジョイン・イン・ジャンボリー(JIJ)プログラムガイドが11月に発行されました。このプログラムガイドは「山口を知る」「日本を知る」「16NJプログラムを知る」をテーマに様々なアクティビティを紹介しています。16NJ参加に向けた準備に活用していただけます。6頁でより詳しく紹介しています。



■ ジャンボリー会場での生活①

ジャンボリーでの生活について概要を紹介します。

参加隊

● 生活

ジャンボリー会場であるきらら浜は晴天の多い地域で開催時期は特に暑さが厳しくなります。定期的な水分とミネラルの補給に加えて、休憩を取るなど熱中症対策が必要となります。サブキャンプ(SC)での生活を有意義に過ごすために、暑さ対策だけでなく、日々、規則正しい生活を送る習慣を身につけましょう。またテントも風通しのよいものを準備し、タープなど日除けの工夫を設けると快適に過ごすことができます。また、時折強い風が吹くため、テントを飛ばされないための工夫も合わせて行いましょう。

16NJでは参加隊指導者は参加隊スカウトの指導・管理だけでなく、他の参加隊指導者と協力しながらSCの一員としてSC本部の運営に一定の役割を担います。そのため、参加隊は各班ごとに年長者を中心とした班運営を行うことが求められます。

参加隊が所属するSCでは、2,000人規模の参加者が共同生活を送ります。異なる都道府県からの参加者に加えて、外国からの参加者と交流し、配給や清掃作業など協働しながら日々の生活を送ります。23WSJのリハーサルを行うため、16NJでは外国からの参加隊は2つのSCに配属されます。

● ハブ・サブキャンプ(SC)

16NJでは6つのSCを設置し、4つのSCそし

て2つのSCで1か所ずつハブを設けます。ハブには救護所や売店などが設置されます。各SCの本部には、参加者を支援するスタッフの事務所の他、指導者と打ち合わせを行う会議スペース等が設置され、運営に必要な電力と通信設備も供給されます。さらに、各SCには参加者が集う広場とプログラムテントなども設置されます。SCは参加者への総合的な支援を行う拠点として機能します。各SCの運営にあたっては、そのSCに所属する参加隊指導者にも協力を依頼することになります。

● トイレ・シャワー

生活に必要な水くみ場、トイレ、シャワーなどの給排水設備は、SC2つに対して1カ所設置され、約4,000人に対応します。きらら浜は平坦な会場であることから、水や食材の運搬にはリヤカーなどを用意すると便利でしょう。

● 食材の配給

配給食料は1こ隊(40人分)のセットを受け取ります。7月31日夕食分から8月8日朝食分までの23食分の食材が配給されます。配給は朝夕の2回行われ、昼食については朝に携行食が配給されます。食料の取り扱いについては、特に衛生面に注意を払い、残った食材については食中毒の恐れがあることから次の食事に持ち越さずに廃棄してください。



■ ジャンボリー会場での生活②

大会運営スタッフ

● 生活

大会運営スタッフは、成人生活エリアで生活します。成人生活エリアには区画が設けられ、派遣団ごとに野営を行います。ベンチャー年代のISTは、成人スタッフとは異なる区画が設けられ、派遣団単位で生活を行います。このため、各派遣団ではベンチャー年代のISTを担当する大会運営スタッフの割り当てをおこなってください。

● 成人生活エリア

成人生活エリアでは、参加スカウトが生活するハブと同様に救護所や売店などの基本的な設備が設けられます。

● 自家用車

大会運営スタッフについては自家用車での来場もできますが、大会会場内や大会の業務では自家用車を利用することはできませんので、ご注意ください。

● 食事

大会運営スタッフは7月29日夕食から8月9日朝食までの32食について、本部食堂で食事をとることができます。

● トイレ・シャワー

大会運営スタッフのトイレ・シャワーの設備は成人生活エリア内に設けられます。

会場の気候

会場は、ジャンボリー開催にあたる期間は例年大変暑くなりますが、一日をとおして風が吹き、時折風速10m/s以上の風も観測されています。

会場から最も近いアメダス（山口県宇部市）で観測された過去10年間の気象データによると、毎年大会期間は天候に恵まれ、最高気温30℃以上となる日も多く観測されているだけでなく、最低気温25℃以上の熱帯夜も観測されています。また、2010年、2011年共に、最高気温35℃以上の猛暑日もありました。日除けの工夫を始め、風通しのよいテントサイト、活動中の適切な水分補給と休憩が健康管理上重要です。

さらに過去10年間の中で、2003年、2004年、2007年は台風またはその前線による影響を受けており、雨・風対策も必要です。

● 大会期間中の最高気温および最低気温

年	最高気温(℃)	最低気温(℃)
2002	32.9	25.0
2003	30.0	26.0
2004	35.1	24.1
2005	30.2	23.3
2006	33.0	24.1
2007	30.8	20.6
2008	34.6	24.3
2009	31.8	23.2
2010	34.0	25.6
2011	32.3	25.0

(アメダス宇部より)

■ 16NJ デザインガイドライン



16NJ大会ロゴの使用方法について定めたデザインガイドラインが策定されました。各県連盟派遣団をはじめ、個人・隊・団などを含め、ホームページや各種制作物を制作する際に必ず参照してください。

デザインガイドラインでは、正しいロゴの使い方を示しており、単色刷や背景の上にロゴを重ねる場合の対応、利用上の注意点のほか、横組みなどの組み替えロゴも紹介しています。

ロゴの使用にあたってはスカウト章の利用に準じた手続きをお願いします。

大会ホームページよりデジタルデータの閲覧およびダウンロードができます。

■ ジョイン・イン・ジャンボリー (JIJ) プログラムガイド



ブリテン2号でご案内しました「ジョイン・イン・ジャンボリー (JIJ) プログラムガイド」が11月に発行され全都道府県連盟に配布されました。近日大会ホームページでも公開されます。

JIJ プログラムガイドは、ジャンボリーに参加できないスカウトたちがジャンボリープログラムを体験できること、そしてジャンボリーに参加するスカウトたちの事前準備となること、この二つを目的に制作されています。参加隊の準備はもとより、普段の隊活動に取り入れてみてはいかがでしょうか。

■ JIJ プログラムキット目次

1. 山口を知る

- ・一般常識：山口クイズ
- ・身体を動かすプログラム：ジャンボリー凧作り
- ・頭を使うプログラム：やまぐちワードサーチ
- ・食文化体験プログラム：やまぐちを食べる！

2. 日本を知る

- ・一般常識プログラム：都道府県の交差点
- ・身体を動かすプログラム：日本ジェスチャーゲーム
- ・頭を使うプログラム：日本かるた取り
- ・調べ学習プログラム：あなたが広報大使／もし日本が100人の村だったら

3. 16NJ プログラムを知る

- ・地球開発村 (GDV)：フードリンク (Food Link) / 世界は新聞の中 (In the Article)
- ・クロスロード・オブ・カルチャー (CRC)：まち散歩 (Culture Hiking) / 私のまちのたからもの (Treasures in my Town)
- ・シティ・オブ・サイエンス (COS)：時の色 (Colours of Time) / あったらしいな (Imagine the Future)

■ 挑戦 / 「山口クイズ」

JIJ プログラムガイドの内容のひとつ、「山口クイズ」の一部をご紹介します。ぜひ、挑戦してみましょう。解答は JIJ プログラムガイドを参照してください。

- ①山口県の人口は？
- ②山口県の面積は？
- ③山口県内の市町の数はいくつ？
- ④山口県の県花は？
- ⑤山口県の県魚は何？
- ⑥山口県のガードレールは何色？
- ⑦山口県のスカウト人口は？

この他にも、様々なプログラムが掲載されています。

■ 県連盟広報担当者について

16NJの広報活動を推進するため、各都道府県連盟に広報担当者を置き、大会前からそれぞれの地域における報道機関との連携等に努めることをお願いしております。広報担当者に選任された方は、16NJ マーケティング・コ

ミュニケーション部より提供される情報などをもとに各都道府県内での16NJの広報活動、そして各都道府県連盟スカウト通信員の支援を行います。ご協力をお願いします。

■ デイビジター

16NJでは8月1日(木)から8月7日(水)までデイビジター(一日場内見学)を受け入れます。各日5千人を上限に会場に入ることができます。ただし、参加者の生活工

リアについては入場できません(参加スカウトの引率がある場合のみ、サブキャンプ広場まで入場することができます)。見学を検討中の方は今後の情報を参照してください。

■ 大会各部の業務と IST カタログ

大会本部は次の14部署で構成されています。各部は、ベンチャースカウト、ローバースカウトおよび成人指導者の大会運営スタッフにより運営され、16NJでは約2千人の大会運営スタッフを必要としています。

● 国際サービスチーム員 (IST)

ISTの申込にあたっては各部署の業務や必要となる技能を参照の上、希望する部署を選択します。(各部の業務の詳細については「IST カタログ」(2013年1月上旬公開予定)を参照してください。必要となる技能

や業務内容についてより詳しく紹介されています。)

その後、ISTの配属は、来年実施される確定申込後、全体での調整を行いますので、必ずしも奉仕希望部署に沿った配属とならない場合があることをあらかじめご理解ください。

ISTは、参加スカウトがジャンボリーを通して成長することを手助けするという大会の目的を達成するため、ともにジャンボリーを作り上げていく役割を担います。引き続き皆様のご協力をお願いします。

大会各部の業務内容

J-01	派遣団サポート Contingent Support	各県連盟および各国連盟派遣団へのサポートを行います。
	ホームステイ Home Hospitality	外国からの参加者および引率指導者のホームステイの受け入れ体制を整えます。
J-02	サブキャンプ Sub Camp	サブキャンプ(SC)に配属されるすべての参加者のために生活の場を築き、全員が参加することができるサブキャンプ活動を提供します。
J-03	ヒューマン・リソース Human Resources	日本および世界からの大会運営スタッフ2千人を確保し、各部への配属を行うとともに、大会運営スタッフの生活エリア、プログラムなどを提供します。
J-04	ゲスト・サービス Guest Service	デイビジターの受入れ、特別来賓に関するすべての手配、各国派遣団レセプションのコーディネート、場外宿泊施設の手配などを行います。
J-05	マーケティング・コミュニケーション Marketing&Communication	すべてのプロモーション資料・用品とウェブサイトの運用、大会広報などを担当します。メディアセンターの運営、ジャンボリー新聞の制作、スカウト通信員プログラム運営なども行います。
J-06	情報通信技術・参加者登録 Information and Communication Technology	Eメールと情報共有システムを確立するほか、参加者登録システムの運用、参加者の受付などを行います。
J-07	オンサイトプログラム Onsite Programme	ジャンボリー会場内で行われるプログラムを計画、運営します。
	宗教 Faith and Beliefs	参加者が自身の信仰に基づいた生活を行うとともに、他の様々な信仰について学ぶ機会を提供します。
J-08	オフサイトプログラム Offsite Programme	地域社会奉仕、自然探求、水上プログラムの3つの場外プログラムを計画、運営します。
J-09	広島ピースプログラム Peace Programme	広島ピースプログラムと各国連盟代表スカウトの広島平和祈念式典への参列を実施します。
J-10	セレモニー Ceremony	開会式、閉会式、アリーナショーの運営に加え、デイビジター向けのショーを実施します。
J-11	安全・救護 Safety	ジャンボリーを安全で信頼できる環境に整えます。
J-12	サイト・マネージメント Site Management	会場設計・整備・運営に関する業務を担当します。
J-13	輸送 Transport	人員と物資の輸送を担当します。
J-14	配給・食堂 Food	SCに配属される全参加者への食糧提供、クックブック作成、成人スタッフ用食堂の運営、ケータリングなどを行います。
	販売サービス Trading	一般売店、フードハウスのコーディネート、銀行、郵便局、スカウトショップなどの調整を行います。